

平成18年度 医療のIT化に係るコスト調査について（案）

1. 調査の目的

- 医療のIT化は、下記①～④の課題に応えるための手段として、現在その重要性を増しているところである。
 - ① 標準化・透明化された医療情報を国民に提供し、医療機関の説明責任を果たすこと
 - ② 医療の安全性を向上すること
 - ③ 医療情報の共有による地域の医療資源の利用を適正化すること
 - ④ 院内システムを効率化すること
- さらに、本年1月にIT戦略本部から発表された「IT新改革戦略」に基づき、6月1日に示された「重点計画-2006」においても、「ITの構造改革力を最大限に発揮し、疾病の予防、医療の質の向上と効率化、医療費の適正化及び医療格差の解消を図ることが緊急の課題」として医療のIT化の重要性・緊急性が強く謳われている。
- この「重点計画-2006」における具体的施策の1つとして、「健康情報を活用した高度な予防医療の支援と医療機関による質の高い医療の実現」が掲げられ、「導入目的を明確にしたうえで、電子カルテ等の医療情報システムの普及を推進し、医療の質の向上、医療安全の確保、医療機関間の連携や全国的な健康情報の活用等を飛躍的に促進する」ことが施策目標となっている。
- 本調査は、このような医療のIT化に伴うコスト（IT導入に伴い追加的に発生するコスト／導入の結果として削減可能であるコスト）の実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成することを目的とする。
- 平成17年度における調査では、医療のIT化について先進的な取り組みを行っている医療機関等に対してヒアリング調査を行い、医療のIT化に伴うコストについて定量的・定性的に把握したものの、あくまでも限定的な施設へのヒアリング調査に基づくものであるため、より幅広い医療機関等を対象とする調査設計が課題となっていたところである。
- そこで、本年度調査では、医療のIT化に係るコストについて政策に活用できる十分なデータを得るため、より幅広い医療機関等を対象としてアンケート調査を実施するものとする。

2. 調査対象及び方法

- 病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局を調査対象とする。
- これらの調査対象に対して、別添の調査票案を送付し、アンケート調査を実施する。なお、アンケート調査への回答施設の一部に対してヒアリング調査を実施し、主に IT システムの導入効果について補完的な事例把握を行う。

3. 調査内容

- 本調査では、平成 17 年度調査において区分したように、医療の IT 化に伴い追加的に発生するコストを「(ベンダーへ支払う) システム導入保守費用」と「施設内の人的資源の投下」ごとに定量的な把握を行う。また、医療 IT の導入効果については「導入の結果として削減可能であるコスト」について定量的な把握を行う。
- さらに、アンケート調査への回答結果から、医療 IT の導入にあたって、その導入効果の検証などを計画的に実施している医療機関を抽出し、ヒアリング調査を実施することも検討する。

調査項目	具体的な設問例
■基本情報	<input type="checkbox"/> 施設名、所在地 <input type="checkbox"/> 病床数 <input type="checkbox"/> 入院・外来の状況 <input type="checkbox"/> 承認等の状況 <input type="checkbox"/> 診療報酬点数の算定状況 等
■収支状況	<input type="checkbox"/> 医業収入 <input type="checkbox"/> 医業費用
■IT システムの概況情報	<input type="checkbox"/> 電子カルテシステム <input type="checkbox"/> オーダーリングシステム <input type="checkbox"/> 各種部門システム } 導入状況
■IT システムの個別情報	<input type="checkbox"/> 製品名・製造元 <input type="checkbox"/> 契約形態 <input type="checkbox"/> 導入(更新)時期 <input type="checkbox"/> 導入費用 等
■院内体制	<input type="checkbox"/> システム専管部署の有無・体制・人件費 <input type="checkbox"/> システム運用等に係る院内検討委員会等の構成・開催頻度 <input type="checkbox"/> システム運用までの発生する教育・研修・リハーサル 等
■IT 導入による削減コスト	<input type="checkbox"/> 紙・フィルムの量・費用の変化の状況 <input type="checkbox"/> 人件費の変化、スタッフ配置の変化の状況 <input type="checkbox"/> 計画的な検証の実施状況 等
■IT 導入による効果	<input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 患者へのサービスの向上 等

4. 調査体制

- 本調査は、シンクタンクへの委託調査とし、当該シンクタンク内に松田晋哉 産業医科大学教授を主任研究者とする検討委員会を設けて調査を行うこととする。

5. スケジュール

平成18年	9月	調査対象施設の選定
	10月	アンケート調査実施
	11月～	集計・分析
	12月～	ヒアリング調査実施
平成19年	3月	調査結果の報告

第1 基本情報

1 病院名														
2 所在地	〒								TEL					
	都・道 府・県			市・郡				町・村						
3 病床・入院患者の状況	(平成18年10月1日現在)													
病床種類	許可病床				稼動病床				在院患者数					
(1) 一般病床					床					床				人
(2) 療養病床					床					床				人
[再掲] 指定介護療養型医療施設					床					床				人
(3) 精神病床					床					床				人
[再掲] 指定介護療養型医療施設					床					床				人
(4) 結核病床					床					床				人
(5) 感染症病床					床					床				人
合計					床					床				人
4 外来診療等の状況	(平成18年9月1カ月間)													
	医 科				歯 科				合 計					
(1) 初診患者数					人					人				人
(2) 再診患者延べ数					人					人				人
(3) 休診日数														日
5 職員の状況	(平成18年10月1日現在)													
	常 勤 職 員				非 常 勤 職 員									
(1) 医師					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(2) 歯科医師					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(3) 薬剤師					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(4) 看護職員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(5) 看護補助職員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(6) 医療技術員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(7) 事務職員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(8) 技能労務員・労務員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
(9) 役員					人					人	[常勤換算・小数点第一位まで]			
6 承認等の状況	(平成18年10月1日現在)													
01 地域医療支援病院	02 特定機能病院	03 臨床研修病院	04 開放型病院											
05 DPC対象病院	06 DPC準備病院	07 特定承認保険医療機関												
08 老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院	09 緩和ケア病棟を有する病院													
7 点数の算定状況	(平成18年10月1日現在)													
01 回復期リハビリテーション病棟入院料	02 小児入院医療管理料1又は2	03 ハイケアユニット入院医療管理料												
04 亜急性期入院医療管理料	03 急性期入院加算又は急性期特定入院加算													

第2 収支情報

1 医業収入・医業費用		(平成17年度分)												
科 目		金 額												
(1) 医業収入	①入院収入												円	
	②特別の療養環境収入												円	
	③外来収入												円	
	④その他の医業収入												円	
	合計 (①+②+③+④)												円	
(2) 医業費用	①材料費												円	
	②給与費	医師												円
		歯科医師												円
		薬剤師												円
		看護職員												円
		看護補助職員												円
		医療技術員												円
		事務職員												円
		技能労務員・労務員												円
	役員												円	
	③委託費												円	
	④設備関係費												円	
	⑤経費												円	
⑥その他の医業費用												円		
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥)												円		

第3 院内情報のIT化の概況

1 ITシステム化の状況		(平成17年度分)			
(1) 電子カルテシステム		01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(2) オーダリングシステム		01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(3) 各部門システム	看護業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	薬剤業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	手術業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	放射線業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	臨床検査業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	医事業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	材料部業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	食事業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
	病歴管理業務支援システム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
その他のシステム		01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし

第4 ITシステムの個別情報

システム情報①

1 システム製品名	製品名												
	製造元												
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム										
	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム										
	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム										
	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム										
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間											
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日							
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日							
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日							
	保守点検	01 保守点検・修繕を一括 02 分割											
4 契約金額	購入の場合												円 [総額]
	リースの場合												円 [年額]
	レンタルの場合												円 [年額]
	保守点検の費用												円 [年額] ※本体と分割契約の場合

システム情報②

1 システム製品名	製品名												
	製造元												
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム										
	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム										
	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム										
	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム										
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間											
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日							
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日							
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日							
	保守点検	01 保守点検・修繕を一括 02 分割											
4 契約金額	購入の場合												円 [総額]
	リースの場合												円 [年額]
	レンタルの場合												円 [年額]
	保守点検の費用												円 [年額] ※本体と分割契約の場合

システム情報③

1 システム製品名	製品名												
	製造元												
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム	
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間											
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日							
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日							
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日							
4 契約金額	保守点検	01 保守点検・修繕を一括 02 分割											
	購入の場合												円 [総額]
	リースの場合												円 [年額]
	レンタルの場合												円 [年額]
	保守点検の費用											円 [年額] ※本体と分割契約の場合	

システム情報④

1 システム製品名	製品名												
	製造元												
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム	
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間											
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日							
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日							
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日							
4 契約金額	保守点検	01 保守点検・修繕を一括 02 分割											
	購入の場合												円 [総額]
	リースの場合												円 [年額]
	レンタルの場合												円 [年額]
	保守点検の費用											円 [年額] ※本体と分割契約の場合	

システム情報⑤

1 システム製品名	製品名						
	製造元						
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム	
	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム	
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間					
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日	
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日	
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日	
	保守点検	01 保守点検・修繕を一括		02 分割			
4 契約金額	購入の場合						円 [総額]
	リースの場合						円 [年額]
	レンタルの場合						円 [年額]
	保守点検の費用						円 [年額] ※本体と分割契約の場合

システム情報⑥

1 システム製品名	製品名						
	製造元						
2 システム機能 (該当する全てに○)	01 電子カルテシステム	02 オーダリングシステム	03 看護業務支援システム	04 薬剤業務支援システム	05 手術業務支援システム	06 放射線業務支援システム	
	07 臨床検査業務支援システム	08 医事業務支援システム	09 材料部業務支援システム	10 食事業務支援システム	11 病歴管理業務支援システム	12 その他のシステム	
3 契約形態	導入形態	導入時期・期間					
	01 購入	→	購入年月日	年	月	日	
	02 リース	→	契約開始日	年	月	日	
	03 レンタル	→	契約終了日	年	月	日	
	保守点検	01 保守点検・修繕を一括		02 分割			
4 契約金額	購入の場合						円 [総額]
	リースの場合						円 [年額]
	レンタルの場合						円 [年額]
	保守点検の費用						円 [年額] ※本体と分割契約の場合

第5 システム導入・運用に関する院内体制

1 院内のシステム専管部署									
(1) システム専管部署の有無	01 有り		02 無し						
(2) システム専管部署所属職員	医師								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	歯科医師								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	薬剤師								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	看護職員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	看護補助職員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	医療技術員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	事務職員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	技能労務員・労務員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
	役員								人 [常勤換算・小数点第一位まで]
(3) 年間人件費 (平成 17 年度)									円
2 システム運用等に関する院内検討委員会									
(1) 院内検討委員会の有無	01 有り		02 無し						
(2) 院内検討委員会の構成	医師								人
	歯科医師								人
	薬剤師								人
	看護職員								人
	看護補助職員								人
	医療技術員								人
	事務職員								人
	技能労務員・労務員								人
	役員								人
(3) 開催頻度	年		回 [1回当たり平均						時間]
3 (1) システム運用等に関する分科会・ワーキンググループ①									
(1) 分科会・ワーキングの有無	01 有り		02 無し						
(2) 分科会・ワーキングの構成	医師								人
	歯科医師								人
	薬剤師								人
	看護職員								人
	看護補助職員								人
	医療技術員								人
	事務職員								人
	技能労務員・労務員								人
	役員								人
(3) 開催頻度	年		回 [1回当たり平均						時間]

3 (2) システム運用等に関する分科会・ワーキンググループ② ※分科会等が複数ある場合にご記入ください

(1) 分科会・ワーキングの構成	医師			人	
	歯科医師			人	
	薬剤師			人	
	看護職員			人	
	看護補助職員			人	
	医療技術員			人	
	事務職員			人	
	技能労務員・労務員			人	
	役員			人	
(2) 開催頻度	年		回 [1回当たり平均		時間]

3 (3) システム運用等に関する分科会・ワーキンググループ③ ※分科会等が複数ある場合にご記入ください

(1) 分科会・ワーキングの構成	医師			人	
	歯科医師			人	
	薬剤師			人	
	看護職員			人	
	看護補助職員			人	
	医療技術員			人	
	事務職員			人	
	技能労務員・労務員			人	
	役員			人	
(2) 開催頻度	年		回 [1回当たり平均		時間]

4 システム導入前の一定期間のスタッフ研修

(1) スタッフ研修の有無	01 有り		02 無し			
(2) 1人当たり必修回数	医師			回 [1回当たり平均		時間]
	歯科医師			回 [1回当たり平均		時間]
	薬剤師			回 [1回当たり平均		時間]
	看護職員			回 [1回当たり平均		時間]
	看護補助職員			回 [1回当たり平均		時間]
	医療技術員			回 [1回当たり平均		時間]
	事務職員			回 [1回当たり平均		時間]
	技能労務員・労務員			回 [1回当たり平均		時間]
	役員			回 [1回当たり平均		時間]

第6 IT導入による効果

1 IT導入に伴う効果（主に該当するもの3つを選び、○印をつけてください）	
01	比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった
02	検査結果等を動画・静止画により説明することで、患者にとって理解しやすい診療が可能になった
03	医療従事者間での情報共有が進み、チーム医療の実施が容易になった
04	医療機関内・医療機関間との情報交換が容易になった
05	システムによる自動チェック機能等により、処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した
06	医師の処方・指示の見読性が高まり、伝達ミス等によるインシデント等が減少した
07	フィルム・紙等の消耗品の使用量が削減された
08	正確な物流管理により在庫が適正化された
09	診療報酬の請求事務が効率化された
10	業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された
11	その他（ ）

第7 IT導入による削減コスト

1 紙・フィルムに係るコスト	
(1) 紙の使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input style="width: 100px;" type="text"/> 円/年の（増加・減少） 02 無し 03 不明
(2) 紙の保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input style="width: 50px;" type="text"/> m ² 程度の（増加・減少） 02 無し 03 不明
(3) フィルム使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input style="width: 100px;" type="text"/> 円/年の（増加・減少） 02 無し 03 不明
(4) フィルムの保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input style="width: 50px;" type="text"/> m ² 程度の（増加・減少） 02 無し 03 不明
2 人件費に係るコスト	
(1) システム化に伴う人件費の増減	01 有り ⇒ <input style="width: 100px;" type="text"/> 円/年の（増加・減少） 02 無し 03 不明
(2) システム化に伴う配置転換の有無	01 有り 02 無し
3 システム導入による効果検証の実施の有無	
(1) システム導入の計画的な検証	01 有り 02 無し
(2) システム化に伴うコストの増減	(1) が有りの場合 <input style="width: 100px;" type="text"/> 円/年の（増加・減少）

(参考資料)

平成17年度 医療のIT化に係るコスト調査
－ 調査結果報告（抜粋）－

目 次

1. 調査の背景と目的.....	1
2. 調査の概要.....	2
3. 調査結果の概要.....	4
4. 今後の課題.....	12

1. 調査の背景と目的

(1) 調査の背景

- 医療の IT 化は、「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン最終提言」（保健医療情報システム検討会 平成 13 年 12 月）においても謳われているように、「21 世紀の医療提供の姿を考える際に不可欠の要素」であり「実現すべき具体的な政策課題」である。
- さらに、「我が国が 5 年以内（2005 年）に世界最先端の IT 国家になる」という目標を掲げて 2001 年に始まった e-Japan 戦略は、e-Japan 戦略 II（2003 年）、戦略 II 加速化パッケージ（2004 年）を経て、IT 政策パッケージ-2005（IT 戦略本部 2005 年 2 月 24 日）が発表され、医療分野においても一層の IT 化が求められているところである。
- 医療の IT 化は、1) 標準化・透明化された医療情報を国民に提供し、医療機関としての説明責任を果たすこと、2) 医療の安全性の向上、3) 医療情報の共有による地域の医療資源利用の適正化、4) 院内システムの効率化（ペーパーレス化の実現、在庫の適正化など）—といった課題に応えるための手段として、現在その重要性を増している。
- しかしながら、医療の各種 IT システム（電子カルテ、オーダーリングシステム、医用画像ファイリングシステム、レセプト電算処理システム等）の導入・維持のためには相当程度のコストを要するにもかかわらず、そのコスト規模に見合う効率化等が実際に達成されているかについての検証は未だ少ないのが実情である。

(2) 調査の目的

- 本調査は、医療の IT 化に伴うコスト（各種 IT システム導入に伴う追加的コスト／導入の結果として削減可能であるコスト）の実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成するとともに、今後の医療の IT 化の推進方策を検討するための基礎資料を得ることを目的とするものである。
- 平成 17 年度においては、医療の IT 化として先進的な取り組みを行っている医療機関等を対象に、IT に係るコストの範囲等を明らかにするとともに、IT の導入効果の測定指標等を確立することを目的とする。さらに平成 18 年度には、より幅広い医療機関等を対象として、医療の IT 化に係るコスト調査を実施するものとする。